

この「環境学習お助け情報」は、学校で環境学習を実施する際の参考に発行しています。

今回のテーマは「ごみの分別・リサイクル」

## 「朝日環境センター・リサイクルプラザ」の見学

～学習のポイントは、「混ぜればごみ、分ければ資源」と「3R」～



### 見学コース例（所要時間 約90分）

- 「ごみ処理のDVDを視聴」(4F研修室)
- ↓
- 「一般ごみの焼却施設見学」(朝日環境センター)
- ↓
- 「びん・かん・ペットボトルなど資源物の処理を見学、リサイクル工房やリサイクルショップの見学」(2・3F)
- ↓
- 「ごみやリサイクルに関する展示見学」(4F)

4年生には、ごみ分別体験(約10分)が追加されます。

### リサイクルプラザ・サポーターのご紹介

見学案内をしているボランティアスタッフの皆さんをご紹介します(平日の見学を担当)



伊田 岩沢  
浅見 榛葉 齋藤

分けて出した「ごみや資源物」がどのように処理されていくのか？  
それぞれの個性を活かしてご案内します。

### 施設概要

【朝日環境センター】 一般ごみの焼却処理施設



子どもたちに大人気！



【リサイクルプラザ】 資源化施設  
(びん・かん・ペットボトルなどリサイクルの中間処理)

資源物の売却代金は、  
H26年度**4億7875万円**※1



手選別の様子

- 展示ホール
- リサイクル工房(家具類の修理)
- リサイクルショップ(リサイクル品の橋渡し、リサイクル家具類販売コーナー)
- 新エネルギー設備(太陽光や風力発電装置など)
- 余熱利用施設(プールやお風呂)

ごみ処理費用は、H24年度**約113億円**。このお金で、  
小学校の校舎を4つ建てることができます※2

1人1日100gごみを減らせば、年間**約1万トン**のCO<sub>2</sub>  
(さいたまスーパーアリーナ**約322個**分の杉の森が1年間に吸収する量)削減になります※3

- ・開館時間 9時～16時 ・休館日 月曜・祝日
- ・大型バス駐車場有 ・トイレ(3階・4階)完備
- ・大研修室にて昼食可
- ・個人や少人数でも見学可能  
(受付時間9:00～11:30、13:00～15:30)
- ・連絡先 リサイクルプラザ 電話048-228-5306

※1 出典「清掃のあらし2015」(川口市環境部発行)

※2 出典「ごみの正体をさぐれ」(川口市環境部発行) 平成26年度のごみ処理費用は約94億円でした

※3 出典「ごみの分別・資源化ガイド」(川口市地球高温化防止活動推進センター)

リサイクルプラザは、川口市の環境学習の拠点にもなっているよ！



川口市地球高温化防止活動推進センター (認定NPO法人川口市環境会議)

住所: 川口市朝日4-21-33 朝日環境センター・リサイクルプラザ4階 (平日9時～17時 土日祝日、年末年始は休み)

電話: 048-222-9050 FAX: 048-222-9051 メール: center@ecolife-kawaguchi.org

http://www.ecolife-kawaguchi.org



# 実践事例 (2015年度)

## 本町小学校

4年生 (5クラス) ※学年を2つに分けて見学を実施

社会科 (12時間扱い)

「くらしとごみ」

「導入(つかむ)の後」(4・5時間目)

学校や家庭から出るごみを調べた後、「出したごみはどのように処理されるのか予想する」授業を実施。

「ごみのゆくえ」を図にまとめた。

路線型貸切バス、1人約800円

前半クラス9:30~11:00

後半クラス13:45~15:15

対象

教科領域

単元名

見学の位置づけ

事前学習

事後学習

移動手段と費用負担

スケジュール

## 在家小学校

4年生 (2クラス)

社会科 (13時間扱い)

「くらしとごみ」

「まとめの最後」(12・13時間目)

2~3日前に「一番見たいもの」「確かめたいもの」「働いている人に聞きたいこと」を書き、イメージを膨らませる授業を実施。

「新聞づくり」(1人1枚)と、家庭でのふりかえり学習をした。(宿題にワークシートを利用)

路線型貸切バス、1人約1000円

給食を少し早めに(20~30分)とって13時頃学校を出発し、5・6時間目見学、15:30頃学校戻り



「子どもたちは各自、課題・目的意識をしっかりとって見学していました。大量のごみに驚くと共に、見学後、「給食を残さなくなった、しっかり分別して出したい」との声が子どもたちから上がっていました。」

### 担任の先生からの一言



「最後に見学に行くぞ!という目的意識を持つことができ、子どもたちの変容が見られました。事前に学習しているため、見学時はしっかり話を聞いていました。実践につながる、身になる授業になったと感じています。」

### <参考資料>



【かわぐち】  
社会科副読本。  
「住みよいくらし」  
の中で、「くらしと  
ごみ」が取扱われ  
ています。



【ごみの正体をさぐれ】  
ごみ・リサイクルに関  
する社会科学習資料。小  
学校4年生に、2年に1  
回配布されています。  
(発行 川口市環境部)



【ごみの分別・資源化ガイド】  
ごみの分別・リサイクルのポ  
イントをまとめた資料。小学  
校3・4年生を中心に、リサイ  
クルプラザ見学時に配布し  
ています。センターのホー  
ムページからダウンロード  
可能。(発行 川口市地球高  
温化防止活動推進センター  
)



【清掃のあらし2015】  
川口市の廃棄物に関  
する資料。ごみ・資源物に関  
する詳しい情報が掲載  
されています。市のホー  
ムページからダウンロー  
ド可能。(発行 川口市環  
境部)

社会科で「くらしとごみ」について学ぶ4年生での見学をおすすめします。(2014年度は、11校が4年生で見学にきています)



### 見学についての注意事項

- ・資源化施設の休憩時間帯(10:00~10:20、12:00~13:00、14:00~14:20)は、ペットボトルなど手選別の様子を見ることができません。
- ・第5週目にあたる日(水曜日を除く)は、資源物の収集がないため、これらの処理の様子を見ることができません。

次回は、エネルギーをテーマに1月頃お届けします。

「環境学習お助け情報」に対するご意見や、「こういう情報を知りたい」というご要望をお待ちしています。またセンターでは、環境学習に関するご相談にも対応していますので、どうぞお気軽にご連絡ください。バックナンバーはホームページに掲載しています。